



Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.12

発行者 沼津国際交流協会  
(企画広報部会)

所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所国際交流室内

☎0559-34-2529



インドネシア農業青年来沼

さわやかな笑顔と南国の香りとともに

## 岳陽市友好訪問団来沼

平成7年4月5日は、沼津・岳陽、友好都市提携10周年にあたります。記念事業を岳陽市で開催する予定ですが、事業の一環として、沼津市を岳陽市民に広く宣伝するため、岳陽市長を団長として、新聞・テレビ関係の記者を含む友好団6名が沼津市を訪問しました。

市長一行は、7月27日から8月2日まで滞在し、その間、夏祭りを始め、図書館・御用邸・柿田川・富士山など沼津市及びその周辺を訪問、取材しました。

7月28日、沼津軒で行われた歓迎会では、岳陽市長の欧陽松氏が10周年記念事業を念頭において、以下のようなすばらしいスピーチをされました。



▲沼津・岳陽、両市長なごやかに

值此一年一度的沼津市“祭夏”节即将之际，我们岳阳市友好访问团一行六人，应櫻田光雄市长的邀请，来到了我们美丽的友好城市——沼津市。我们一到沼津，就受到了诸位的热情欢迎，并再次举行如此盛大的欢迎宴会，对此，我代表我们代表团一行全体人员对市长先生以及诸位的热情厚意，表示衷心的感谢。

我早就听说沼津市是一个美丽、富饶、文明的城市，经济速度和各项社会事业发展很快。这次有幸来沼津市访问，感到由衷的感谢。此次随团出访的还有新闻、摄影记者，就是希望多拍一些沼津的情况，回去后把美丽的沼津市介绍给我们广大的市民，以此进一步加深我们两市的友好。

岳阳也是一个美丽的城市，有闻名天下岳阳楼和洞庭湖，自古“洞庭天下水，岳阳天下楼”的美名。她历史悠久，景色怡人，资源丰富，交通发达，现有面积15000多平方公里，人口490万，是长江流域对外开放城市之一。是一个工、农业发达的城市，这几年岳阳又有了更大的发展。

自从1985年4月我们两市结为友好城市以来，两市之间在经济、文化、体育、卫生、人才等方面开展了全方位的友好交往，两市人民的友谊日益加深，我深信，两市之间的交往和友谊会不断地向前发展。

明年是岳·沼两市结好十周年，届时将在岳阳举行一系列的庆祝活动。我们也正在为此积极地做各方面的准备。借此机会，我正式邀请以櫻田光雄市长先生为首的诸位一定到我们岳阳市来参加庆典活动，我们将热忱欢迎诸位的光临。

最后，对诸位的热情款待，再次表示衷心的感谢。谢谢大家。

# 友好都市提携10周年にむけて



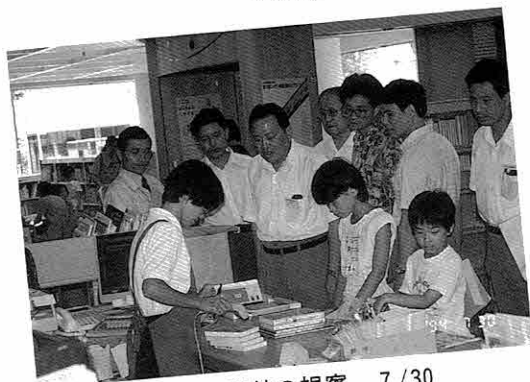
NICE会員との歌の交流(歓迎会にて) 7/28



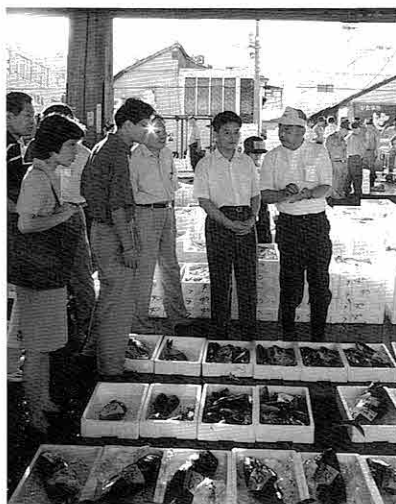
御用邸公園の視察 7/28



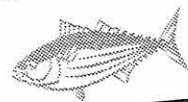
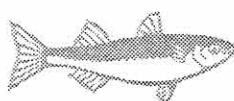
市長表敬訪問 7/28



市立図書館の視察 7/30



早朝からの魚市場視察 7/29



内浦で生け簀の視察 7/29



# Sampai Jumpa Lagi

ふれあい部会では昨年同様、6月11日から20日まで、インドネシアから農業青年24名を招聘しました。歓迎会に始まり、市長表敬訪問、JA南駿訪問、各種農業視察、ホームステイ、市民との交流イベント、送別会などを行い交流を深めました。



歓迎会にて (ニュー静浦ホテル)(6/11)



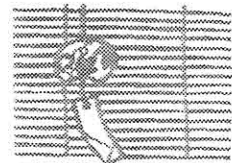
市長表敬訪問  
ワヤンを贈る青年代表 (6/14)



市民交流 (ピア・オオトミにて) (6/18)



▲お茶工場視察 (6/15)



▲田植えを経験 (6/14)



▲パン作り体験  
(ヌマヅベーカリーにて)(6/16)



## ま・た・会・う・日・ま・で

ふれあい部会は、インドネシア青年を迎えるにあたり、4月から約3か月間準備を進めてきました。140名のふれあい部会員が一丸となり、大成功を収める事ができました。今回は大成功の裏方を務めたスタッフの声を聞いてみました。

### 彦坂正信さん

(市民交流・ステージ担当)

今回の舞台のメインテーマは「童の遊」<sup>ワラベ アソビ</sup>と題し、日本の伝統的な遊びを紹介することでした。子供の頃遊んだ、けん玉・めんこ・あやとりなどを紹介しました。

私の担当は「竹馬」でしたが、購入するのはつまらないと思い、作ることにしました。いざ作り始めると、誰も細部にわたり覚えておらず、思った以上にたいへんで、大の大人4人がかりで、丸一日掛かってしまいました。それでもなんとか6組の竹馬を作り上げました。

当日は日本の子供たちが集まってきましたが、驚いたことに、大多数が女の子でした。「これではなんだか逆だな」と思いつつインドネシア青年に声を掛けました。彼らは竹馬に上手に乗り、子供たちとともに楽しそうに遊んでいました。

私も楽しい一日を過ごすことができました。

### 広瀬 菜穂子さん

(送別会担当)

送別会では司会を務めさせていただきましたが、今までに体験した事のない貴重な経験をさせていただきました。

通訳の方に貸していただいた素敵な民俗衣装を着ていたせいか、開会前はとても緊

張してしまいました。それでも会を進行させるにつれ緊張もほぐれ、スタッフの方の助けを得、送別会は無事、成功に終わりました。

途中、市民の皆さんと青年たちが別れを惜しむあまり、プログラムに変更が生じるというハプニングもありました。しかしそれも、この事業の趣旨である「21世紀のための友情計画」へのステップを、さらに一歩進めることができた何よりの証拠ではないでしょうか？

### 山田 久美子さん

(市民交流・コーナー担当)

昨年に引き続き、今年もインドネシア農業青年たちとの交流イベントスタッフとして、お手伝いさせていただきました。未熟ながらも市民交流・コーナー担当責任者でしたが、各コーナー担当スタッフの方々全員が前回までの経験から様々なアドバイスを下さったり、連日に及ぶ話し合いにおいても、私はどのくらいお世話になったか分かりません。

イベントを間近に控え、日に日に形となっていく様子を目にし、準備段階から関わることの面白さを実感しました。が、その反面、大勢の手で完成したものが一日にして終わってしまった時には、大変寂しく思いました。

今回は、ホストファミリー以外の私たちスタッフとインドネシア青年との交流がこのイベント当日以外にはなかったのが、視察時を含み、もう少し彼らと接したかったという気持ちが残りました。次回スタッフとしてもう一度参加する際には、今回の経験を少しでも生かせればと思います。

## ◆◆カラマズー留学報告記◆◆

望月 華世さん（平成5年度留学生）

今思えば、あっという間の1年間でした。年があける頃までは、英語も思うように上達しないし、友達もあまりいなくて、本当に毎日が憂うつでした。

しかし2学期が始まった頃から、毎日がすごく楽しくなりました。私は台湾、ブラジル、メキシコからの留学生と4人で、よく映画や買い物に行きました。お互いに自分たちの国から離れて来ているせいか、彼女たちと一緒にいるのが、すごく楽しかったです。

ホストファミリーは、本当にいい人たちでした。ホストマザーは、音楽の先生で、ピアノを教えてくださいました。また彼女の実家は牧場で、乳牛をたくさん飼っていて、メイプルシロップを作ったりして、今までにない経験をしました。もちろん楽しいことばかりではなく、家族とうまくいかないことや、私が勝手に腹立たしく思っていたりしたことなどもありました。

また後半には、ソフトボールチームのマネージャーをやりました。目的は、友達を作ることでした。それまで私には、アメリカ人の友達がたくさんいませんでした。チームメイトともそれほど親しくなったわけではありませんが、学校で会うと声をかけてくれたりして、本当に良かったと思います。練習などの送り迎えで、ホストにもかなり迷惑をかけたのですが、いつも出来る限りの事をしてくださいました。

カラマズーで出会ったたくさんの人たち、留学生仲間や友達のことは、一生忘れないと思います。

こんなに素晴らしい経験をさせてくださった皆さんと両親には、本当に感謝をしています。ありがとうございました。

## ◆◆カラマズー中高生来沼◆◆

7月12日から8月2日まで、姉妹都市アメリカ・カラマズー市から、ローラ・レインステインさんとケイラ・カースジェスさんの2人が沼津市を訪れ、ホームステイをしながら沼津市とその周辺を観光し、市民との交流を深めました。

特に印象に残ったのは、沼津夏祭りだったようです。壮大な花火は、まるでクリスマスとお正月、そして独立記念日が全て同時にやって来たようだ、と感想を語ってくれました。

2人ともホームステイを十分に楽しみ、忘れ難い思い出をたくさん作ったようです。そして、また沼津に戻ってきたい、そう言い残して無事に帰国しました。

ホストファミリーをお引き受けいただいた6家族の皆様、ありがとうございました。



▲富士山新五合目にて（8/1）



▲送別会にて（7/31）

## ◆◆カラマズー市訪問記◆◆

森 祐介さん(長泉高校1年生)

僕たち市民訪問団一行は、7月19日にカラマズー市に向け出発した。シカゴで沼津市立高校生と合流し、現地時間の翌日夕方シカゴ市内の観光を終え、カラマズーへ向け出発しようとしたが、天候の悪化のため、飛行機が欠航してしまった。シカゴで一日足留めされた僕たち一行は、翌日やっとカラマズーに着いた。

僕たち市民訪問団と市立高校生の一行は、シティホールでそれぞれのホストファミリーと対面し、各家庭へと向かった。僕のホストはRossさん一家で、お父さんとお母さん、息子さんの3人家族だった。

カラマズーでまず最初に驚いた事は、スーパーマーケットの広さだった。食料品のみならず、ファミコンソフト、CD、日曜大工用品などもあった。一度に買う量も、日本と比べものにならない。

ホストの家では、息子さんとプールに入ったり、バスケットやファミコンなどをして遊んだ。

翌日、市立高校生に同行させてもらい、カラマズーの高校見学に出掛けた。僕の通っている長泉高校とは違い、各スポーツごとに専用のグラウンドがあり、室内温水プールもあり、劇場なみの小ホールまでもあった。これには僕も驚かされた。

その翌日、ホストとダウンタウンへ出掛けた。フラワーフェスティバルが開催されていて、色とりどりの花が、いろいろに形どられていた。その帰りに買い物をし、ボウリング場へ行った。シューズを借りる際、アメリカのサイズではなく日本のサイズを言ってしまう、少々戸惑った。

夕方、ナショナルホッケーリーグのパ

ティーに行ったが、他の出席者は選手たちのスピーチを聞いて笑っていたが、僕には英語の放送問題を聞いているようにしか聞こえなかった。

そして次の日、ついにカラマズーを立つ日となってしまった。カラマズー空港でホストと別れる時、お父さんが泣いてしまった。この別れが、今回の旅の中で一番つらい時だった。

この10日間の旅を楽しくしてくれた高校生の先輩方、大人の方々、そしてホストには、書き切れないほど感謝している。

この旅は楽しく、そして少々英語の勉強になった。

是非もう一度、カラマズーを訪れてみたい。



▲森君、ホストファミリーと



▲ホストファミリーと市民訪問団

# 講演会へのお誘い

## 英語講演会

### 音楽とディスクジョッキーの世界

- ◇日時 9月10日(土)19:00~20:30
- ◇場所 市立図書館4F 視聴覚ホール
- ◇講師 フランクリン・レスリー氏  
(元DJ-FEN 東京、NHKラジオ  
オジャパン、日本テレビ音声多重  
放送など、多数出演)
- ◇演題 “IN THE BROADCAST STUDIO”
- ◇申込不要、入場無料  
(当日、直接会場へお越しください。)
- ◇定員 200名

## 日本のシンドラーズリスト

日本のシンドラーと呼ばれる、故杉原千  
 畝氏夫人の講演会が開かれます。沼津国際  
 交流協会でも後援することになり、会員の  
 方々は一般より早く申し込みができます。

大勢の方々の参加をお願いいたします。

- ◇日時 11月26日(土)14:00~16:00
- ◇場所 沼津市民文化センター小ホール
- ◇講師 杉原幸子さん
- ◇演題 『夫、千畝と6,000人のビザ』
- ◇主催 静岡県、神奈川県フォスターペア  
レントの会
- ◇締切 9月22日(木)NICE事務局へ☎申込

問い合わせ、詳細は  
 NICE 沼津国際交流協会事務局まで  
 ☎34-2529  
 (沼津市役所国際交流室内)

## NICE 燦々ぬまづ踊りに参加

昨年度に引き続き、8月20日に行われた  
 燦々ぬまづ踊りに参加しました。昨年以上  
 の会員の皆さんのご参加、ありがとうございました。

手作りのハッピーに、紺色のショートパン  
 ツ姿、いかがですか？



## 市国際交流室人事移動報告

約3年間、在住外国人のよき相談相手と  
 なってきましたマルリ・山田さんが、7月  
 8日付で退職しました。このため7月11日  
 から後任者が勤務していますので紹介しま  
 す。

♡氏名 大城 奈美子さん

♡担当業務 スペイン語  
 通訳&事務

20代のフレッシュレ  
 ディーです。

皆さんよろしくお願  
 いします。

